

基本情報

所属	現代ビジネス 学部 地域経済学科	氏名	池田 景子 Ikeda Keiko
職名	准教授	E-mail	k-ikeda@cb.kiu.ac.jp
		研究者ウェブサイト	

■ 学歴・取得学位

2004(平成16)年3月	奈良女子大学文学部言語文化学科卒業 学士(文学)
2006(平成18)年3月	奈良女子大学大学院人間文化研究科言語文化学専攻 博士前期課程修了 修士(文学)
2010(平成22)年3月	大阪大学大学院文学研究科英米文学専攻博士後期 課程修了 博士(文学)

■ 主な職歴

2009(平成21)年4月	奈良保育学院、非常勤講師(～2012年3月)
2010(平成22)年4月	同志社大学、非常勤講師(～2014年3月)
2010(平成22)年10月	大阪大学、非常勤講師(～2014年3月)
2011(平成23)年4月	奈良教育大学、非常勤講師(～2014年3月)
2014(平成26)年4月	九州国際大学、准教授(～2021年3月)
2016(平成28)年4月	九州工業大学、非常勤講師(～2017年9月)
2021(令和3)年4月	九州国際大学、教授(現在に至る)

教育活動

■ 主な担当授業科目

○ 学部：英語 I、外国文学<英米文学 I>、イギリス文学、英米文学購読 B、英語 1B、英語 2B、英語(リーディング・ライティング)、英語(ライティング)、入門セミナー1、入門セミナー2
○ 大学院：なし

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材： 入学前教育テキスト(2014・2015年度英語担当)作成
○ 教育活動： 入学前教育(英語)のテキスト解説(2015年1月31日、2016年1月30日)
○ 免許・資格： 高等学校教諭一種免許 外国語(英語) 高等学校教諭専修免許 外国語(英語)

研 究 活 動

■ 研究分野

研究分野	イギリス・ロマン派文学（主にメアリ・シェリー、P. B. シェリー）
主な研究テーマ	メアリ・シェリー及び P. B. シェリーにおける創造行為の特質
キーワード	ロマン派における想像力など

■ 主な著書・論文等

著書
○ なし
論文
(a) 学位論文
○ The Quest for the Abyssinian Source: The Romantic Myth of Hieroglyphic Representation in William Wordsworth and P. B. Shelley (博士論文), 大阪大学大学院, 124p, 2010年3月
(b) 学術論文
○ Shelley's "Mont Blanc": The Secret Strength's Image Written on Water (単著), <i>Osaka Literary Review</i> 第47号, pp. 19-32, 2008年12月【単独査読あり】
○ シェリーの「アラスター」に刻まれた<詩人>の自己認識の旅(単著), 藤田治彦編『「芸術とコミュニケーションに関する実践研究」研究報告集』(フォーラム「環境と文学」に関わる研究報告書), pp. 236-39, 2009年3月【単独査読あり】
○ ワーズワスの「序曲」におけるスノードン山でのヴィジョン — 聴覚的イメージと視覚的イメージの転換(単著), 『英米文学の可能性 — 玉井暲教授退職記念論文集』, 英宝社, pp. 297-304, 2010年3月【単独査読あり】
○ 創作者メアリ・シェリー — 『最後の人間』におけるメタ・フィクション性(単著), 『イギリス・ロマン派研究』第35号, イギリス・ロマン派学会, pp. 65-78, 2011年3月【複数査読あり】
○ Mis-understanding the Past: The Decipherment of Hieroglyphs and Romantic Works, <i>POETICA: An International Journal of Linguistic-Literary Studies</i> 76 (単著), Yushodo: Tokyo, pp. 37-49, 2011 December【複数査読あり】
○ 『序曲』の改訂とワーズワスの幾何学(単著), <i>Osaka Literary Review</i> 第51号, pp. 19-35, 2013年1月【単独査読あり】
○ Erasmus Darwin's Frequent Uses of the Term of Hieroglyphic in <i>The Temple of Nature</i> (単著), 『教養研究』第22巻, 第1号, 九州国際大学教養学会, pp. 79-95, 2015年7月. 【査読なし】
○ 『詩の弁護』における P. B. シェリーの鏡再考 — 動詞 reflect の意味を手掛かりに(単著), 『教養研究』第23巻, 第3号, 九州国際大学教養学会,

- pp. 1-21, 2017 年 3 月. 【査読なし】
- P. B. シェリーの『詩の弁護』におけるヒエログリフの比喻—エラズマス・ダーウィンから引き継いだ伝統, 『イギリス・ロマン派研究』第 41 号, イギリス・ロマン派学会, pp. 12-26, 2017 年 3 月. 【複数査読あり】
 - プリズムの多面鏡による光の乱反射—P. B. シェリーの『詩の弁護』を中心に, 『教養研究』第 24 巻第 2 号, 九州国際大学教養学会, pp. 11-33, 2017 年 12 月. 【査読無し】
 - Reflected Lights in P. B. Shelley' s *Prometheus Unbound*, 『教養研究』第 24 巻 第 3 号, 九州国際大学教養学会, pp. 1-16, 2018 年 2 月. 【査読無し】
 - P. B. シェリーの「西風に寄せるオード」とシビルの葉をつなぐもの—案内役としてのメアリ・シェリー, 『教養研究』第 27 巻第 3 号, 九州国際大学教養学会, pp. 1-23, 2021 年 3 月. 【査読無し】

学会発表

- Abyss の旅のモチーフと河口探検／極探検 — *Don Juan, Heaven and Earth, The Island* (単独), 2007 年度日本バイロン協会談話会, 於: 大分県由布市, 2007 年 6 月 30 日
- 水源と東方 — Shelley の *Alastor* に刻まれた<詩人>の旅 (単独), 環境と文学 — <環境文学 (Eco-Literature) >の可能性とその社会的効用 — 第 4 回フォーラム, 於: 大阪大学, 2008 年 3 月 15 日
- Bruce and Wordsworth (単独), The 37th Wordsworth Summer Conference, Grasmere, UK, 2008 August 3
- *The Prelude* 第 8 巻における羊飼いの像 — glory と Wordsworth の詩的精神 (単独), イギリス・ロマン派学会第 35 回全国大会, 於: 明星大学, 2009 年 10 月 4 日
- メアリ・シェリーの『最後の人間』 — ヴァーニーの出奔と語りの入れ子式構造 (単独), 日本英文学会第 82 回大会, 於: 神戸大学, 2010 年 5 月 30 日 [要旨: 『第 82 回大会 Proceedings』, 日本英文学会, pp. 80-82, 2010 年 9 月.]
- 『序曲』の改訂とワーズワスの幾何学 (単独), 日本英文学会関西支部第 5 回大会, 於: 大阪市立大学, 2010 年 12 月 18 日
- The Decipherment of Hieroglyphs in the Romantic Works: Byron and the Selleys (単独), Coleridge International Conference in Kobe (Coleridge, Romanticism, and the Orient: Cultural Negotiations), Kobe, 2011 July 17
- 神官によるヒエログリフ翻訳—P. B. Shelley の “The Witch of Atlas” における諷刺 (単独), 日本英文学会第 84 回全国大会, 於: 専修大学, 2012 年 5 月 27 日 [要旨: 『第 84 回大会 Proceedings』, 日本英文学会, pp. 47-48, 2012 年 9 月]
- *The Temple of Nature* における Erasmus Darwin のヒエログリフ観—an universal language と hieroglyphic emblem (単独), 日本英文学会関西支部第 7 回大会, 於: 京都大学, 2012 年 12 月 22 日 [要旨: 『第 85 回大会 Proceedings』, 日本英文学会, pp. 185-86, 2013 年 9 月]
- P. B. Shelley の *A Defence of Poetry* における鏡とヒエログリフ (単独),

- 2013 年度日本バイロン協会談話会，国際文化会館，2013 年 7 月 20 日
- 『詩の弁護』における P. B. シェリーの鏡の比喻再考—動詞 reflect の意味を手掛かりに (単独)，冬季イギリス・ロマン派文学研究会 (九州・山口地区)，於：福岡大学，2015 年 12 月 12 日
 - 『詩の弁護』と『鎖を解かれたプロメテウス』の序文における P. B. シェリーの鏡の比喻再考—2015 年学会報告，2016 年日本バイロン協会談話会，滋賀医科大学，2016 年 7 月 23 日。
 - P. B. Shelley の *Prometheus Unbound* における反射光，2017 年度日本バイロン協会談話会，ステーションホテル小倉 4F 会議室勝山，2017 年 7 月 22 日。
 - パーシーとメアリのシビルの葉—「西風に寄せるオード」と『最後の人間』，日本シェリー研究センター第 28 回大会，帝京大学，2019 年 12 月 7 日。[シンポジアムの全体タイトル：シェリーの<驚異の年>再考—メアリとともに織りなす生(lives)と言の葉(leaves)]

その他

- (書評) スティーブン・ブルーム「バイロンのナルシシズム再形成」，玉井暉編『批評理論を読む，テクストを読む』，大阪大学大学院文学研究科英米文学研究室，pp. 153-60，2007 年 3 月。
- (書評) Julian North. *The Domestication of Genius: Biography and the Romantic Poet*，『イギリス・ロマン派研究』第 36 号，イギリス・ロマン派学会，pp. 73-77，2012 年 3 月
- (書評) Nicholas Halmi. *The Genealogy of the Romantic Symbol*，『教養研究』第 21 巻，第 1・2 合併号，九州国際大学，pp. 53-62，2014 年 12 月。
- (書評) Fiona Stafford, *Reading Romantic Poetry*，『会報』第 19 号，日本バイロン協会，pp. 20-23，2015 年 11 月。
- (書評) Duncan Wu. *30 Great Myths about the Romantics*，「会報」第 20 号，日本バイロン協会，pp. 25-28，2016 年 11 月。
- (研究ノート) The Priests' Translating Hieroglyphics: The Satire in P. B. Shelley's "The Witch of Atlas," 『教養研究』第 25 巻第 1 号，九州国際大学教養学会，pp. 19-33，2018 年 7 月。
- (研究ノート) Reading the Story of P. B. Shelley's *Laon and Cythna*，『教養研究』第 25 巻第 2・3 合併号，九州国際大学教養学会，pp. 113-27，2019 年 3 月。
- (資料) 詩人と西風—P. B. シェリーの「西風に寄せるオード」，『教養研究』第 26 巻第 2 号，九州国際大学教養学会，pp. 85-96，2019 年 12 月。
- (資料) 灰と火花—P. B. シェリーの「お前は何者なのだ、おこがましくも、冒涇するのは？」，『教養研究』第 26 巻第 3 号，九州国際大学教養学会，pp. 75-84，2019 年 12 月。
- (資料) P. B. シェリーの死を悼む—メアリ・シェリーの「選んだひと」，『教養研究』第 27 巻第 1 号，九州国際大学教養学会，pp. 53-62，2020 年 7 月。
- (資料) P. B. シェリーの「マブ女王」翻訳—第 1 編から第 3 編まで，『教養研究』第 27 巻第 3 号，九州国際大学教養学会，pp. 37-68，2021 年 3 月。
- (資料) 1818 年から 1819 年における P. B. シェリーの詩作品群，『教養研究』第 28 巻第 1 号，九州国際大学教養学会，pp. 27-41，2021 年 7 月。
- (資料) P. B. シェリーの「マブ女王」翻訳—第 4 編から第 5 編まで，『教

『養研究』第28巻第2号，九州国際大学教養学会，pp.33-54，2021年12月。

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

なし

■ 主な所属学会

日本英文学会（2007年4月～現在に至る）、日本英文学会関西支部（2006年12月～2014年3月）、イギリス・ロマン派学会（2006年4月～現在に至る）、日本バイロン協会（2007年4月～2022年3月）、国際バイロン学会（2007年4月～2022年3月）、日本英文学会九州支部会員（2014年4月～現在に至る）、日本シェリー研究会（2014年4月～現在に至る）、イギリス・ロマン派文学研究会（九州・山口地区）（2014年4月～現在に至る）

■ 受賞等

なし

■ 研究助成金による研究

○ なし。

社会における活動等

○ 外部委員：

日本バイロン協会、バイロン出版物編集委員（2011年7月～現在に至る）
日本バイロン協会、理事（『会報』編集担当）（2015年4月～2022年3月）
日本バイロン協会、理事（名簿管理担当）（2015年4月～2022年3月）
日本シェリー研究センター、理事（会計担当）（2022年4月～現在に至る）

大学運営活動等

- 研究活動助成委員（2014年4月～2015年3月）
- 教務委員（2015年4月～2016年3月）
- エクステンションセンター委員（2016年4月～2017年3月）
- 研究活動助成委員（2017年4月～2021年3月）
- 基礎教育センター委員（2020年4月～現在に至る）
- 学部教務委員（2021年4月～現在に至る）
- 教養学会編集委員（2021年4月～現在に至る）